



高梁川水系 河川整備計画

ニューズレター

Takahashi River
Improvement Project

高梁川水系河川整備計画に関する会議の状況や河川整備計画の策定状況などの情報をお伝えします。



高梁川水系河川整備計画の原案を作成していきます!

高梁川水系河川整備基本方針(長期的な河川整備の基本的方針)が平成19年8月16日に策定されました。

引き続き河川の具体的な整備の目標と内容についての計画である高梁川水系河川整備計画を策定します。

この計画の策定にあたっては、河川に詳しい学識経験者からなる「明日の高梁川を語る会」を設立し、計画原案や、流域住民の方々の意見を計画に反映するためのあり方について意見をいただきます。この「明日の高梁川を語る会」は流域住民の方であれば、どなたでも会議の内容を聞くことができます。また、流域住民の皆さんの意見を直接お聞きするために「地域と共に明日の高梁川を考える会」を開催し、計画原案作成の基礎資料とします。

さらに、アンケート調査も同時に実施する予定です。

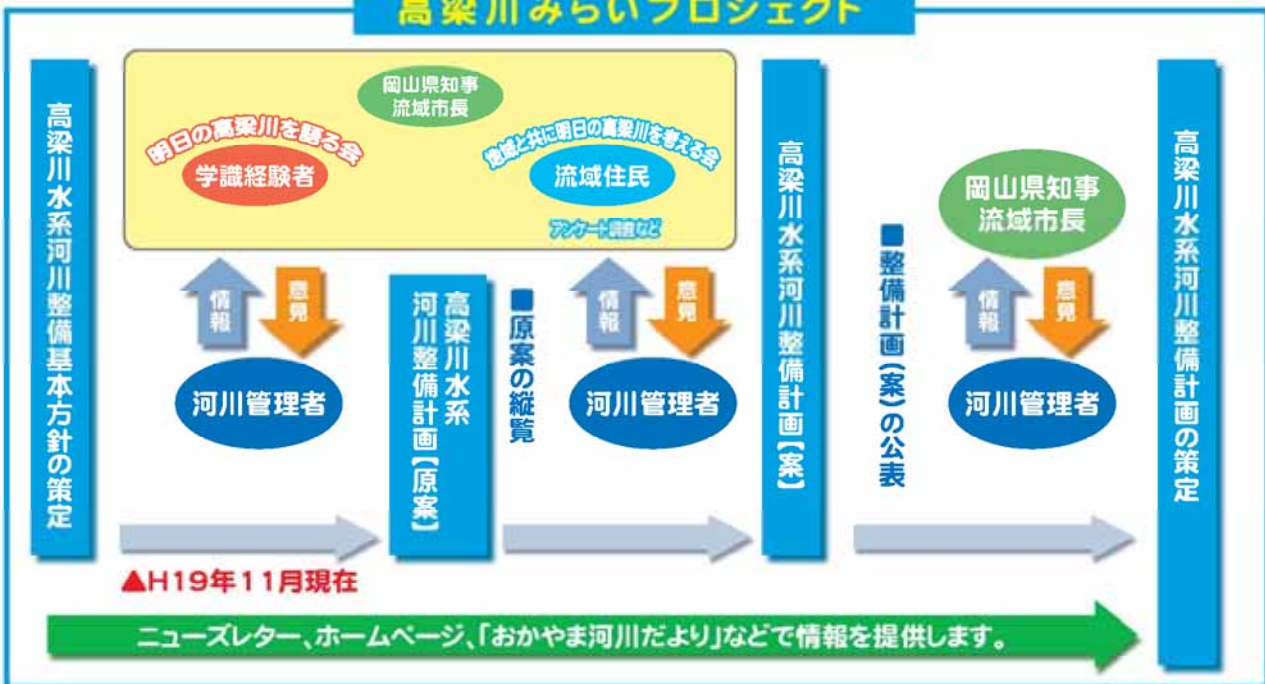
今後は、この「ニューズレター」を通じて、会議の開催時期や開催状況、計画原案の作成状況などをお伝えします。



高梁川水系河川整備計画の策定に向けた進め方

河川整備基本方針に基づき策定される、今後20~30年間に行う具体的な河川整備の内容を示す「河川整備計画」には、河川整備の目標、河川整備の実施に関する事項が定められます。

高梁川みらいプロジェクト



河川整備基本方針と河川整備計画の特徴

治水・利水・環境の三要素から、将来的な高梁川の基本的な方針を定めた「高梁川河川整備基本方針」が、岡山三大河川（高梁川・旭川・吉井川）のトップをきって策定され、平成19年8月16日に官報公表されました。

今後は、みらいの川づくりについて、ひろく地域住民のみなさんにご意見をうかがいながら具体的な計画を策定していきます。

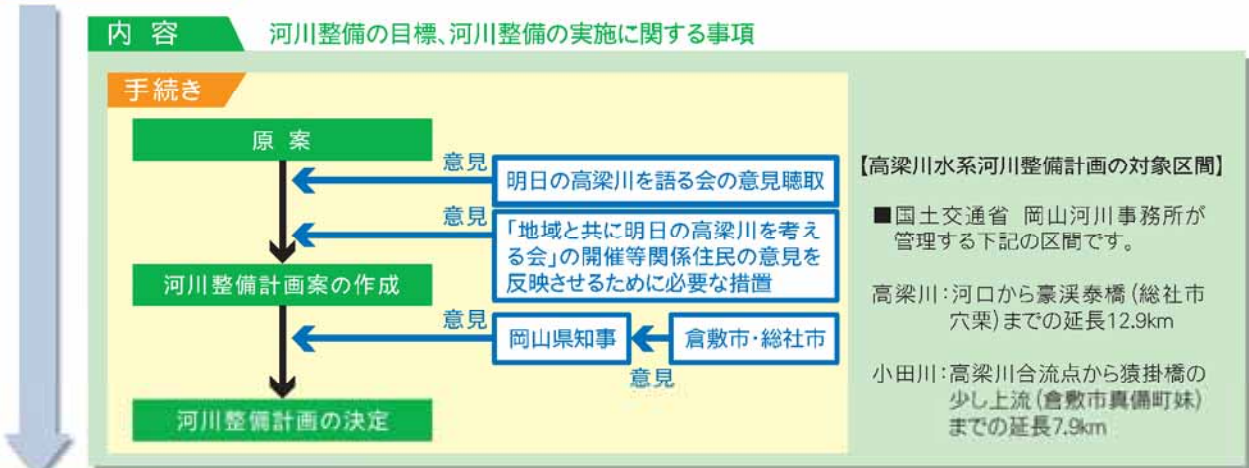
河川整備基本方針（平成19年8月16日策定）

河川整備の基本的な方針（考え方）を長期的な視点で定めたものです。社会資本整備審議会（国土交通大臣の諮問機関）の意見を聴いて国土交通大臣が定めます。



河川整備計画

今後、20～30年間に行う、具体的な河川整備の内容をまとめます。流域住民、県知事、学識経験者からの意見をうかがって、中国地方整備局長が定めます。



河川工事、河川の維持

会議開催のお知らせ

明日の高梁川を語る会【公開】

高梁川水系河川整備計画の原案作成のために、河川に詳しい学識経験者からなる「明日の高梁川を語る会」を開催し、専門家の立場からご意見をいただきます。（河川法 第16条の2に準じる）

第1回 明日の高梁川を語る会 平成19年11月5日（月）開催

地域と共に明日の高梁川を考える会【公開】

高梁川水系河川整備計画原案の作成に向けて、流域住民の皆さんの意見を反映させるために「地域と共に明日の高梁川を考える会」を開催します。この説明会でいただいたご意見やご要望は、河川整備計画原案の作成のための基礎資料となります。多くの方々のご参加をお願いいたします。（河川法 第16条の2に準じる）

第1回 地域と共に明日の高梁川を考える会 平成19年11月中旬～ 6箇所で開催予定

高梁川水系河川整備計画について、流域住民の皆様からのご意見を募集しています。ホームページをご覧ください。

国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所 高梁川みらいプロジェクト

〒700-0914 岡山県岡山市鹿田町2丁目4番36号 TEL (086)223-5101(代表) FAX (086)222-7835
URL <http://www.okakawa-mlit.go.jp/seibi/taka.html>



高梁川水系 河川整備計画

Takahashi River
Improvement Project

高梁川水系河川整備計画に関する会議の状況や河川整備計画の策定状況などの情報をお伝えします。

第1回 明日の高梁川を語る会を開催しました。

開催状況

「第1回 明日の高梁川を語る会」(座長・名合宏之岡山大学名誉教授)が平成19年11月5日に倉敷労働会館にて開催されました。

会議では、会の設立趣旨や規約等の確認と承認、座長の選出、河川整備基本方針・河川整備計画について、スケジュール(案)、高梁川の概要および課題、流域住民からの意見聴取方法について議論され、委員からは「地域の意見を上手に引き出して頂くように配慮をお願いしたい」などの意見がありました。



開催風景

第1回「明日の高梁川を語る会」の掲示資料の公開

「第1回明日の高梁川を語る会」の資料については下記で閲覧できます。

国土交通省 岡山河川事務所ホームページ

<http://www.okakawa-mlit.go.jp/>

高梁川水系の川づくりに関するアンケートを実施します

高梁川水系河川整備計画原案の作成に向けて、流域住民の皆さんの意見を反映させるために「アンケート調査」を行います。このアンケートでいただいたご回答は、河川整備計画原案の作成のための基礎資料となります。多くの方々のご回答をお願いいたします。(河川法 第16条の2に準じる)

【アンケートの配布方法】 *新聞折込*
公共機関等に常設 岡山県、倉敷市役所、総社市役所等
小中学校を通じた配布
岡山河川事務所ホームページ

【アンケート募集期間】 平成19年11月22日～平成20年1月末日

※お寄せいただくご回答は無記名として、統計的な処理を行いますので、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

会議開催のお知らせ

【第1回】地域と共に明日の高梁川を考える会

高梁川水系河川整備計画原案の作成に向けて、流域住民の皆さんの意見を反映させるために「地域と共に明日の高梁川を考える会」を開催します。この説明会でいただいたご意見やご要望は、河川整備計画原案の作成のための基礎資料となります。多くの方々のご参加をお願いいたします。(河川法 第16条の2に準じる)

平成19年12月3日～ 7箇所で開催予定

【第2回】明日の高梁川を語る会

高梁川水系河川整備計画の原案作成のために、河川に詳しい学識経験者からなる「明日の高梁川を語る会」を開催し、専門家の立場からご意見をいただきます。(河川法 第16条の2に準じる)

平成19年12月開催予定(詳細は裏面をご覧ください)

高梁川水系河川整備計画について、流域住民の皆様からのご意見を募集しています。ホームページをご覧ください、ご意見をお寄せください。

【第1回】地域と共に明日の高梁川を考える会

会場案内

総社市 2会場で開催

清音支所

12月3日(月)
19:00~21:00

〒719-1172
総社市清音郷部
1135番地
TEL 0866-94-0111



西公民館

12月5日(水)
19:00~21:00

〒719-1142
総社市秦350
TEL 0866-92-0446



倉敷市 5会場で開催

玉島文化センター

12月4日(火)
19:00~21:00

〒713-8121
倉敷市玉島阿賀崎
1丁目6番27号
TEL 086-525-2611



マービーふれあいセンター

12月11日(火)
19:00~21:00

〒710-1301
倉敷市真備町箭田
40番地1
TEL 0866-98-9111



船穂公民館

12月13日(木)
19:00~21:00

〒710-0261
倉敷市船穂町船穂
1697
TEL 086-552-2600



福田公民館

12月9日(日)
10:00~12:00

〒712-8046
倉敷市福田町古新田
274-21
TEL 086-454-0148



イオンモール倉敷(イオンホールにて開催)

12月17日(月)
19:00~21:00

〒719-1142
倉敷市水江1番地
TEL 086-430-5200



事前のお申し込みは不要です。当日、直接会場にお越し下さい。各会場とも30分前から受付を開始します。

【問い合わせ先】 国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所 高梁川みらいプロジェクト

〒700-0914 岡山県岡山市鹿田町2丁目4番36号 TEL (086)223-5101(代表) FAX (086)222-7835
URL <http://www.okakawa.mlit.go.jp/>



高梁川水系河川整備計画に関する会議の状況や河川整備計画の策定状況などの情報をお伝えします。



地域と共に明日の高梁川を考える会(第1回～第8回)を開催しました

開催状況

地域住民のみなさんの意見を高梁川水系河川整備計画に反映させるために、「地域と共に明日の高梁川を考える会」を8箇所(倉敷市6箇所、総社市2箇所)で開催し、総勢約210名の皆様にご参加いただきました。

考える会では河川管理者から河川整備基本方針と河川整備計画のちがい、および高梁川の概要と課題について説明を実施しました。さらに、小田川の付け替え事業については、改修のイメージを理解していただくために、模型を使ったわかりやすい説明を行いました。意見交換では、「河道内の樹木を伐採してほしい」、「堤防を強化してほしい」、「環境に配慮した整備計画にしてほしい」などの意見が多く聞かれました。



【清音支所会場】



【マービーふれあいセンター会場】



【イオンモール会場】



【柳井原小学校会場】

「地域と共に明日の高梁川を考える会」資料の公開

「地域と共に明日の高梁川を考える会」の資料については下記で閲覧できます。

国土交通省 岡山河川事務所ホームページ <http://www.okakawa-mlit.go.jp/>

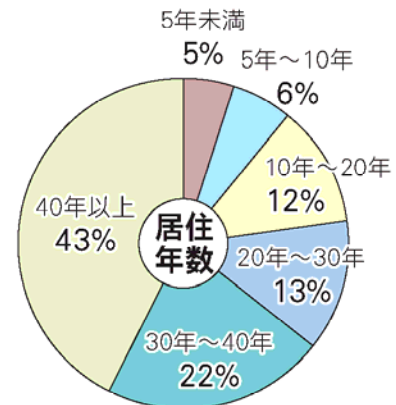
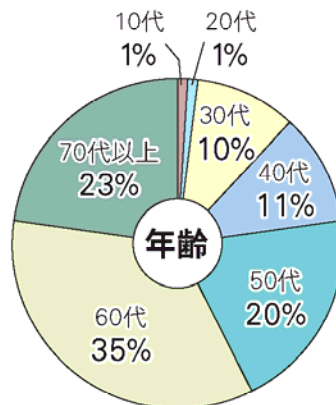
高梁川水系の川づくりに関するアンケート調査の中間報告

平成19年11月25日より実施しているアンケート調査「高梁川のすがた」には多数の回答が寄せられています。

昨年の12月末時点までに寄せられた1,024通を対象として中間集計を実施いたしました。ここでは、治水、利水、環境の整備の方向性に関する設問とその結果の一部を抜粋して報告します。

回答して頂いた方の年代、居住年数

アンケートに回答して頂いた方々は50歳代以上が全体の約7割以上を占めています。また、居住年数は30年以上の方が全体の約6割となっており、高梁川および小田川についての知識や経験をお持ちの方からの回答が多く寄せられています。

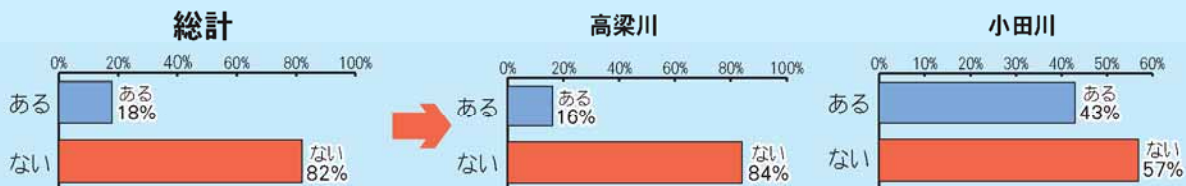


高梁川水系河川整備計画について、流域住民の皆様からのご意見を募集しています。ホームページをご覧ください、ご意見をお願いします。

治水に関する設問と回答

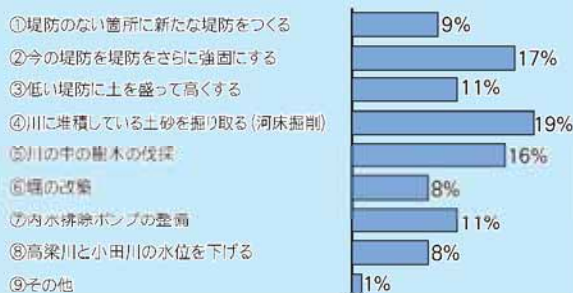
設問：河川があふれ、お住まいや農地などが浸水する被害を受けたことがありますか

洪水による被災経験者の割合は全体では約2割ですが、小田川沿川では被災経験者の割合が高くなっています。



設問：洪水や高潮に対して安全であるために何が大事ですか

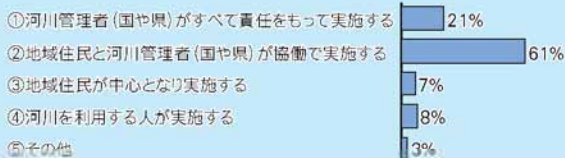
「洪水流下の阻害となる樹木や土砂の撤去、堰の改築」「堤防の新設、補強、かさ上げ」「内水排除ポンプの整備、小田川の水位を下げる」の順位で選択者数が多くなっており、洪水や高潮に対して安全であるためには何らかの治水対策が必要であるとの回答が寄せられています。



維持管理に関する設問と回答

設問：除草、清掃などの維持管理の方法についてどのようにお考えですか

住民と河川管理者(国・県)との協力が必要であるとの回答が圧倒的に多く寄せられています。



設問：高梁川・小田川の整備に対するご意見やご要望があれば記入してください

- 河川に樹木が多く、洪水の流下阻害やゴミの引っかかりが発生しているので伐採してほしい。
- 川に堆積している土砂を掘りとり、流れをよくすることが必要。
- 生活をおびやかされないように洪水、高潮時の対策として堤防強化を要望。
- 自然環境豊かな景観や動植物の生息環境を大切にほしい。

高梁川水系の川づくりに関するアンケートを実施しています

高梁川水系河川整備計画の計画原案の作成に向けて、流域住民の皆さんの意見を反映させるために「アンケート調査」を行っています。このアンケートでいただいたご回答は、河川整備計画原案の作成のための基礎資料となります。多くの方々のご意見をお願いします。(河川法 第16条2に準じる)

【アンケートの入手方法】 *公共機関等に常設してあります。

常設箇所・・・岡山県、倉敷市役所、総社市役所等

*岡山河川事務所ホームページからも直接ご回答いただけます

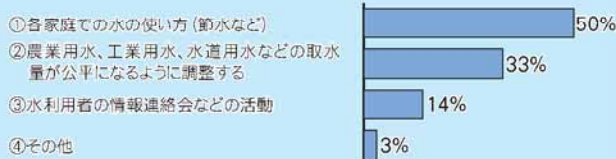
【アンケートしめきり】平成20年1月末日

※お寄せいただくご回答は無記名として、統計的な処理を行いますので、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

利水に関する設問と回答

設問：適正な水利用のための何が大事ですか

「各家庭での水の使い方」を挙げる方が約5割を占めており各家庭の節水努力が大切と考える方が多く、また、農業用水・工業用水・水道用水の利水量の調整を求める声が多く寄せられています。



環境に関する設問と回答

設問：望ましい環境を保全したり復元するためにはどのようなことが必要ですか

「自然環境への配慮や改善」、「草刈り、伐木」が回答のほとんどを占める結果となり、治水等の対策において環境へ配慮しながらも、草刈りや伐木などは必要性に応じて実施することを求める声が多く寄せられています。



【問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所 高梁川みらいプロジェクト

〒700-0914 岡山県岡山市鹿田町2丁目4番36号 TEL (086)223-5101(代表) FAX (086)222-7835

URL <http://www.okakawa-mlit.go.jp/>



高梁川水系 河川整備計画

高梁川ニューズレター(暫定版)

Takahashi River
Improvement Project

高梁川水系河川整備計画に関する会議の状況や河川整備計画の策定状況などの情報をお伝えします。

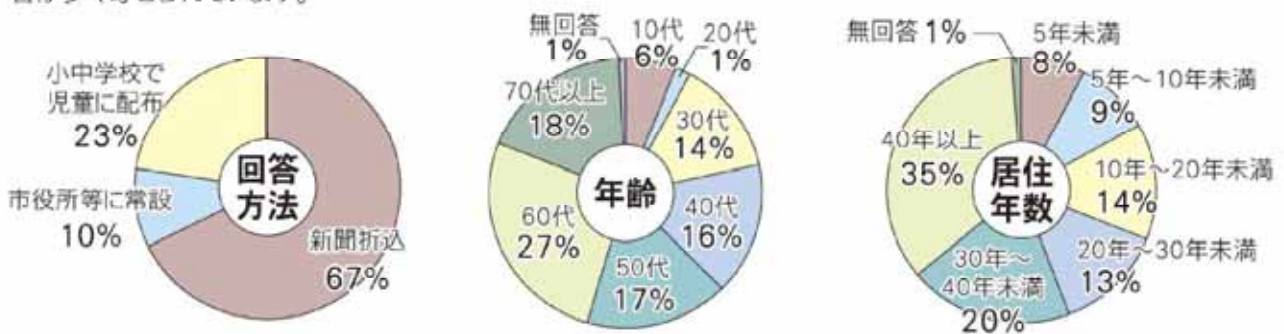
高梁川水系の川づくりに関するアンケート調査結果の報告

平成19年11月25日より実施しましたアンケート調査「高梁川のすがた」は、1月末の締め切り時点において2,350通の回答をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

ここでは、治水・利水・自然環境・河川利用の整備や維持管理の方向性に関する設問とその結果について抜粋して報告します。

回答方法、回答して頂いた方の年代、居住年数

回答は「新聞折り込み」によるものが最も多く、約7割を占めています。次いで小学校での配布、市役所等の公共機関での配布の順になりました。回答者の年代構成は10～20歳代が約1割ですが、30歳代以上は年代が高くなるにつれて回答者数が多くなります。50歳代以上で回答の約6割以上を占めています。また、居住年数は30年以上の方が全体の約6割となっており、地域で長く生活され、高梁川や小田川についての知識や経験をお持ちの方からの回答が多く寄せられています。



治水に関する設問と回答

設問：河川があふれ、お住まいや農地などが浸水する被害を受けたことがありますか

洪水による被災経験者の割合は全体では約2割ですが、小田川を身近に感じると回答された方においては約4割となっています。



設問：洪水や高潮に対して安全であるために何が大事ですか

「堤防整備が必要」との回答が最も多く、「樹木伐採」や「土砂の撤去」、「内水排除ポンプの整備」、「高梁川と小田川の合流点水位の低下」の順で回答が多くなっています。小田川を身近に感じると回答された方に限定した回答では、「高梁川と小田川の合流点水位の低下」を求める回答が約5割を占めています。



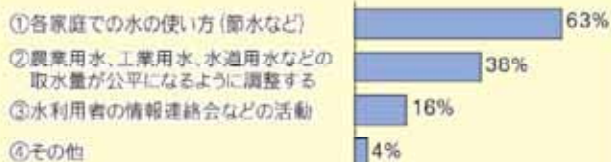
設問：洪水・高潮時に必要と思われる情報は何か

「避難勧告の情報」、「地域の浸水発生状況」、「今後の河川水位の予測」、「現在の河川水位」の順に回答が多くなっており、危機的状況では当該災害に関する情報入手がより強く求められています。



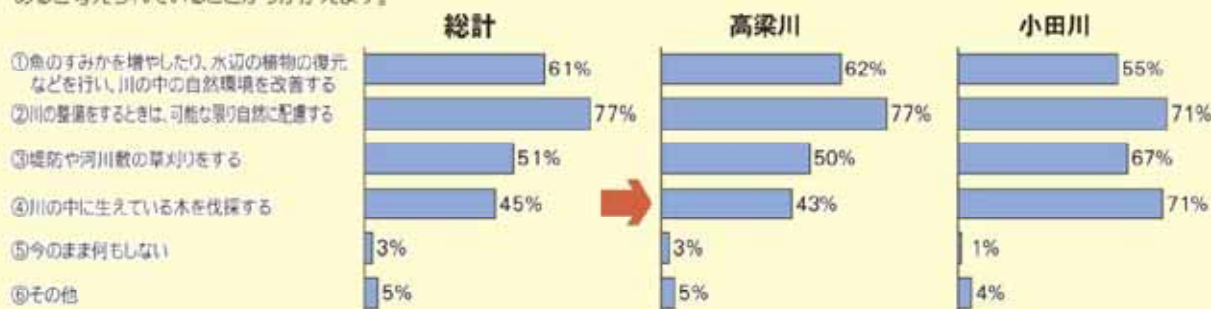
設問：適正な水利用のために何が大事ですか

「各家庭での水の使い方」を挙げる方が最も多く、各家庭での節水努力が大切と考える方が多くなっています。また、農業用水・工業用水・水道用水の利水量の調整を求める声が多く寄せられています。



設問：望ましい環境を保全したり復元するためにはどのようなことが必要ですか

「河川整備の際には可能な限り自然に配慮、改善する」ことが大切との回答が多い一方で、「堤防や河川敷、流水部の除草」を半数以上の方が回答しています。このことから、自然環境への配慮を十分行いながら、必要な改善を行うことが大切であると考えられていることがうかがえます。また、小田川を身近に感じると回答された方は、「堤防や河川敷の草刈り」に加え、「川の中の木の伐採」が必要であると考えられていることがうかがえます。



設問：川を利用しやすくするためにどのように改善すればよいですか

利用したい河川に向けての改善要望は「河川敷での憩いの場の整備」、「自然と親しめる施設整備」、「トイレの整備」を回答している方が多く、河川利用に対する欲求が高いことがうかがえます。



設問：除草、清掃などの維持管理の方法についてどのようにお考えですか

維持管理の方法は、「住民と河川管理者との協力が必要である」と考えている方が圧倒的に多く、河川清掃等に積極的に協力する意識の高さがうかがえます。



設問：高梁川・小田川の整備に対するご意見やご要望があれば記入してください

- 伐木に対する要望が多くあります。
- 自然環境に配慮した整備や現在の自然環境の保全など、自然環境を重要だと考えている意見が多くあります。
- 河川敷の整備を望む意見が多くあります。
- 除草に対する要望が多くあります。
- 河川整備の情報をうまく伝えてほしいとの意見が多くあります。

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。